

# 新宿ゴールデン街まちの将来像（まちづくり指針）に関するアンケート調査及び報告会の結果

## アンケート調査へのご協力、報告会へのご参加ありがとうございました

平成 30 年 4 月から 5 月に実施したアンケート調査及び報告会において、地区の皆さまから「新宿ゴールデン街まちの将来像（まちづくり指針協議会案）」に対するご意見を伺いました。

まちの将来像策定後は、「まちの風情を守り、防災性を向上したまち」を目指し、地区の皆さまを主体に、「防災」「風情・文化」「営み」について検討していきます。

○アンケート調査では、「修正した方がよい」というご意見が 5 件ありましたが、ご意見の内容は、今後まちの将来像をもとに検討していく内容や、現在のまちの風情を守っていくために必要なルールへのご指摘であったため、まちの将来像（まちづくり指針協議会案）の変更は行わないこととしました。

○平成 30 年 4 月 24 日（火）の報告会では、まちの将来像についての大きな反対意見はなく、まちの将来像策定後のまちづくりについて意見があがりました。

アンケート調査での具体的な意見は 2,3 ページ

## アンケート調査の結果

### アンケート調査概要

**調査期間**：平成 30 年 4 月 10 日（火）～平成 30 年 5 月 10 日（木）

**調査区域**：新宿ゴールデン街地区

**調査対象**：地区内の土地・建物権利者、居住者、店舗等営業者

**配布件数**：449 件

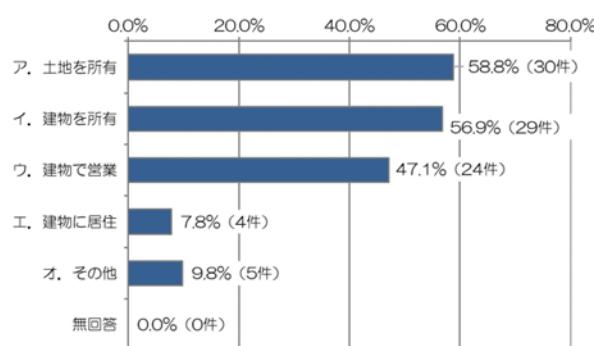
※上記のうち、新宿三光商店街振興組合は 187 部、新宿ゴールデン街商業組合は 108 部、土地・建物権利者への郵送数は 90 部（返戻数を外した数）、それ以外の居住者及び営業者は 64 部

**回答数**：51 件

**回収率**：11.4%

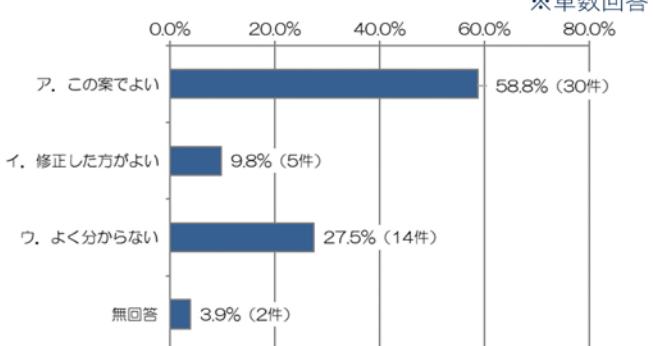
### 回答者について

※複数回答



### まちの将来像（まちづくり指針協議会案）について

※単数回答



回答者の属性は、土地を所有している人が 58.8%（30 件）で最も多く、次いで建物を所有している人が 56.9%（29 件）となっています。

まちの将来像（まちづくり指針協議会案）については、「この案でよい」と回答した人が 58.8%（30 件）と最も多く、「修正した方がよい」と回答した人は 9.8%（5 件）と最も少なくなっています。

# まちの将来像（まちづくり指針協議会案）に関する具体的な意見

## ■まちの将来像（まちづくり指針協議会案）についての具体的な意見

### まちの将来像の評価や今後の進め方について

- ・これからもこのまちで仕事をしていくにあたってとても良い案だと思う。
- ・方向性や要旨には賛成だが、誰がやるかで問題が起こりそう。合議制や会の回数を増やしたらどうか。
- ・報告会の出席者が少なかった。周知方法を工夫する必要がある。
- ・アクションプランの不燃化に向けた改修等の促進、電力供給環境の改善が困難な課題であり、その解決がまちづくりの成功に大きく影響すると思う。
- ・まちにどのような人たちが訪れるのかデータを取ることによって、違う角度からの活性化のヒントが得られる気がする。

### 各方向性について

※括弧内の数字は意見の数

#### 営み

##### ■外国人観光客（11）

- ・外国人のお客様が増えているので、いち早く対策したほうがよい。
- ・新宿ゴールデン街のPR活動や、インバウンド客の割引等、集客にも力をいれるべき。
- ・まちのルールを載せた絵葉書のようなものを、空港やインフォメーションブースに置いたらどうか。

##### ■防犯・治安（2）

- ・路上喫煙の禁止、煙草の吸殻を捨てない等の看板やパンフレットの作成をしたらどうか。
- ・24時間体制で監視できるシステムを構築してはどうか。

##### ■四季の路（2）

- ・薄暗さ、防犯を何とかしてほしい。

##### ■営み（1）

- ・かつて文化人が集まっていたようなソフト面を今風に創り上げていければ良い。

#### 防災

##### ■防災（6）

- ・新宿ゴールデン街のまちづくりの基本は防災だと思う。
- ・清掃のルール化、消防訓練など意識向上を図る対策が必要である。
- ・現状の街並み、区画、建物の面積を維持しつつ、火災予防、建物の不燃化、電線の整備等を重要視して進めてほしい。

##### ■電気・インフラ（4）

- ・使用ワット数をあげたいお店が多いと思う。
- ・インフラの老朽化への配慮をお願いしたい。

##### ■不燃化改修（2）

- ・建物のセットバックは不可能であると思うので、改修する際に不燃材を使うことくらいしかできないと思う。

#### 風情・文化

##### ■霧園気（2）

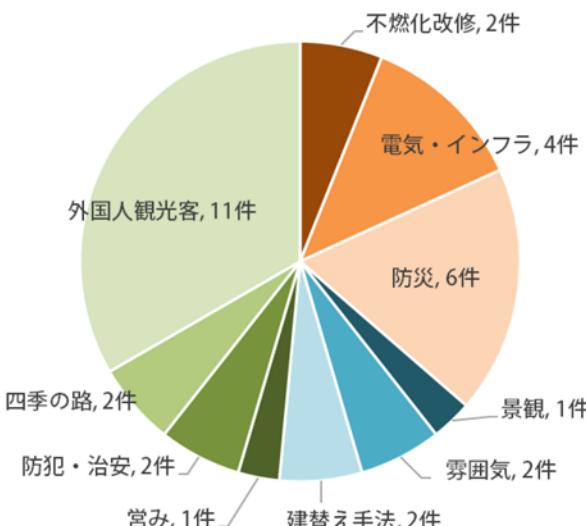
- ・システムティックになると魅力が半減すると思う。アノログでローカルなコミュニケーションがゴールデン街の魅力だと思う。

##### ■建替え手法（2）

- ・建物の壁が共有になっており、どのように建替えしてよいか分からぬ。

##### ■景観（1）

- ・新たにエアコンを取り付ける人には、室外機を壁や3階まであげることを提案したい。



# まちの将来像（まちづくり指針協議会案）に関する具体的な意見 つづき

## ■まちの将来像（まちづくり指針協議会案）について 「修正した方がよい」と回答した人の意見と見解

### 意見

まちづくりやルール等を公共機関に介入してほしくない。特にP11の「取り組み」（建替え後）等の検討はやめていただきたい。

### 見解

現状のままでは建替え時に道路中心線から敷地を2m後退させなければなりません。現在の路地空間が生み出す雰囲気が損なわれないようにするためにも、現在の狭い路地空間を活かした建替えが可能となるようなルールを検討していくことが必要と考えます。また、ルールの検討は、地域の皆さんを主体に進めるもので、区などの行政機関が強制的に進めるものではございません。

### 意見

法定再開発等、法的強制力のある開発手法にて合意形成を図り、まちづくりを進めていただきたい。結果、耐火建築物となり、防災性は増す。まちの風情は、店舗区画で再現し、継承、和風デザインにて顔づくりをすれば、訪日外国人のおもてなしも可能だと思う。

### 見解

今回の「まちの将来像」は法定再開発に頼らず、新宿ゴールデン街の風情を守りながら防災性を向上させることを目指しています。今後は、新宿ゴールデン街に合った建替えや改修による防災性の向上や、風情を守るようなデザインルールの検討等を行っていきます。

### 意見

- ①狭い通り抜け路地の集合分電盤を移動してほしい。2階への外階段を作る為に改築しなければならないが、移動してもらわないと、それができない。せめて1.5mほどの移動をしてほしい。
- ②ゴールデン街入口の「四季の道」路上での立ち飲み禁止をお願いしたい。カップを持った外国人客たちが毎晩店のテラスのように使い、通りを塞いでいる。即刻禁止通告、禁止標示をして頂きたい。

### 見解

- ①集合分電盤については、複数人で共有しているものです。公共財産ではないため、共有されている方と直接調整していただく必要があります。
- ②四季の道の立ち飲みについては、新宿ゴールデン街と隣接しており、騒音や治安面等の問題もあることから、「営み」の中で今後の検討課題として挙げています。

### 意見

街の文化を守っていくためにルールをきちんと告知する方法を検討していくことが急務ではないか。路上で飲む、大声で騒ぐなど、警備員を1人雇用するだけで注意喚起できる問題も多い。

### 見解

「営み」における取り組みとして、「国内外の来街者をもてなすマナーブックの作成」「清掃活動」「防犯活動の推進」「総合的な違法駐輪対策の推進」をあげています。また、アクションプランにおいても、「営み」の取り組みは短期で実施していくものと考えており、地区の皆さんのご意見をお聴きしながら、早急に進めていきます。

### 意見

- 冊子を読ませてもらいましたが、次の点がよく分かりませんでした。
- ①指針とはどういう性格のものなのか。②冊子記載事項のどこまでが指針なのか。

### 見解

- ①指針とはまちの将来像や方向性を示したもので、新宿ゴールデン街の関係する皆さんと共有していくものです。策定後、指針に基づき具体的な取り組みの検討を行っていきます。
- ②冊子全体が指針になります。

# 報告会の開催結果

日 時：平成 30 年 4 月 24 日（火） 14 時から  
場 所：新宿区立新宿文化センター 地下 1 階展示室  
参加者：30 名  
主 催：新宿ゴールデン街まちづくり協議会



## 参加者からの意見

### ●意見等 → 区より回答

- 事務局の方々は新宿ゴールデン街を日常的に利用しているのか。利用していないのならどうして「営み」のようなことを提案することができるのか。また、火災はこれまで何度もあった。  
→新宿ゴールデン街まちづくり協議会は、平成 28 年 4 月の火災を受けて発足しています。「まちの将来像」についても、区が勝手に進めたわけではなく、新宿ゴールデン街の 4 つの団体の代表者に集まつていただき、協議会お皆さんに資料を出しながら一年間検討してきました。これからがスタートだと考えています。

## 協議会からの意見

- 建替えには皆さまの同意が必要であるため、改修を進めた方が現実的であると思っている。ソフト対策は、店舗を経営している方と相談しながら、経営者を中心に取り組んでいかなければならない。
- 新宿ゴールデン街において火災が何度もあったことは事実だが、平成 28 年 4 月の火災ほど大きな火災はなかった。燃え広がりのスピードや、電線を伝って引火する様子を目の当たりにし、昔のままの建物や設備を改めて整理する時期にきたと思っている。
- 平成 28 年 4 月の火災で焼失した建物を再建できたのは、区の方の協力が大きい。次回火災が起こった場合は今回のようにいかないと思う。そのため、コラムにあるような街並み誘導型地区計画や連担建築物設計制度等を検討する必要がある。
- 今回の「まちの将来像」のようなまちについて視覚化・言語化したのは、飲み屋街では新宿ゴールデン街が初めてではないかと思う。一番危惧されるのは道路が広がることなので、街並み誘導型地区計画や連担建築物設計制度等を活用してまちづくりを行っていきたい。

お問合せ



二次元バーコード

新宿ゴールデン街まちづくり 検索

発 行：新宿ゴールデン街まちづくり協議会  
お問合せ：新宿ゴールデン街まちづくり協議会 事務局

新宿区 新宿駅周辺整備担当部

新宿駅周辺まちづくり担当課（担当：福原、嶋田）

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号 新宿区本庁舎7階

電話：03-5273-4214 FAX：03-3209-9227